

警察活動等に関する 道民の意識調査結果



令和7年12月

北海道警察本部

調査実施状況

1 調査目的

犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現に向けて、北海道警察の重要課題や主要施策について、道民の意識を調査してニーズを把握し、各種施策に反映させることを目的とする。

2 調査項目

(1) 調査対象者に関する事項

ア 年代（5区分）

20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代

イ 居住地域（4区分）

札幌市、人口10万人以上の市、同10万人未満の市、町・村

(2) 調査事項

ア 北海道の治安

イ 北海道警察の活動

ウ サイバー空間における安全・安心

3 調査方法

(1) 調査期間 令和7年11月中

(2) 調査地域 北海道全域

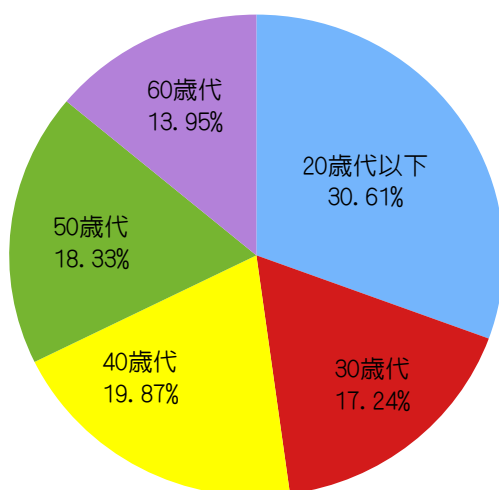
(3) 調査対象者 北海道に居住する運転免許更新者（19～69歳）

(4) 調査対象数 配布数2,058人、回答数1,369人（回答率66.52%）

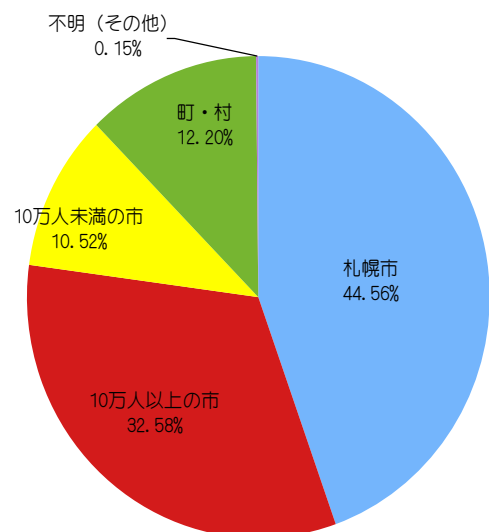
(5) 抽出方法 北海道内の運転免許試験場の免許更新者から無作為に抽出

4 回答者の構成

◇年 代



◇居住地域



5 調査結果に関する留意事項

(1) 回答率

原則として％（パーセンテージ・百分率）で表記しており、小数点以下第３位を四捨五入し、小数点第２位までを表記しているため、回答率を合算した場合、100％にならない場合がある。

(2) 複数回答

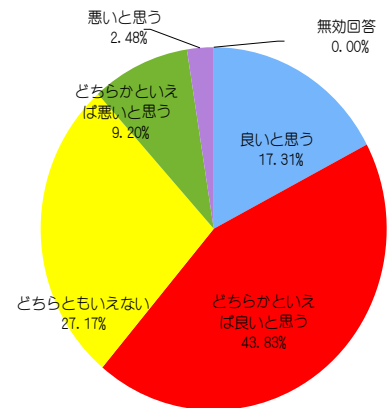
１人の回答者が２つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）の場合、通常その回答率の合計は100％を超える。

1 北海道の治安

問1 北海道の治安についてどのように思いますか。

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

「良いと思う」	17.31% (+1.65pt)
「どちらかといえば良いと思う」	43.83% (+4.77pt)
「どちらともいえない」	27.17% (-3.58pt)
「どちらかといえば悪いと思う」	9.20% (-0.49pt)
「悪いと思う」	2.48% (-1.72pt)
「無効回答」	0.00% (-0.65pt)

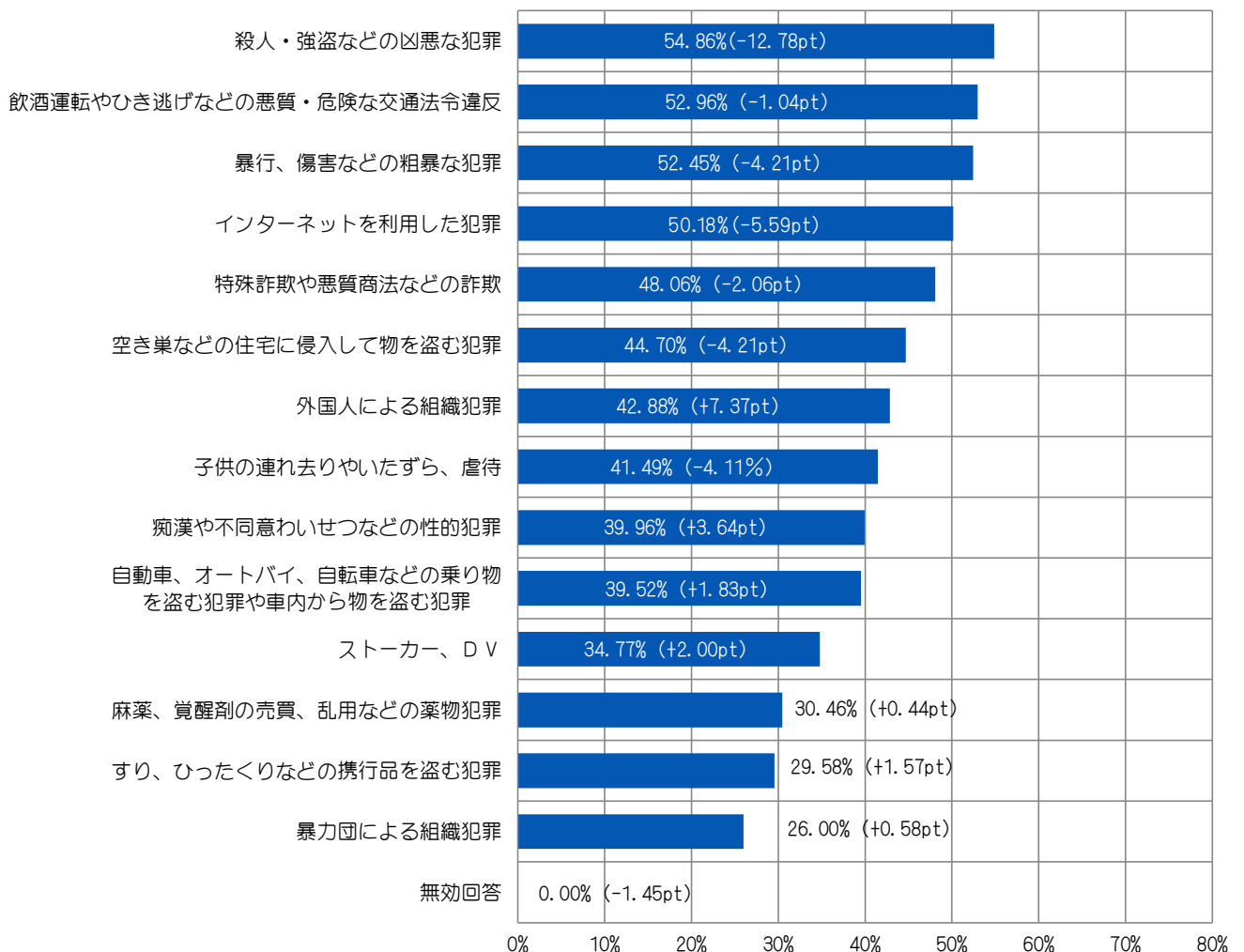


「どちらかといえば良いと思う」が最も多く約43%を占め、次いで「どちらともいえない」「良いと思う」となっています。
「悪いと思う」は最も少なく約2%でした。
「良いと思う」「どちらかといえば良いと思う」を合わせた「良い層」は約61%となっています。

※「良い層」61.14% (+6.42pt)
「悪い層」11.68% (-2.21pt)

問2 不安を感じる犯罪や特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。(複数回答)

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの



総数 (N=1,369 人、M.T.= 587.87%)

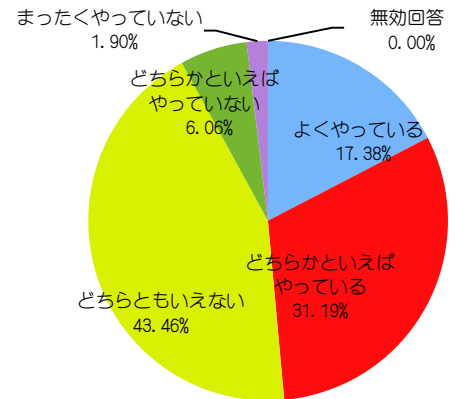
「殺人・強盗などの凶悪な犯罪」が最も多く約54%を占め、次いで「飲酒運転やひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」、「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」となっています。

2 北海道警察の活動

問3 北海道警察の活動をどのように感じていますか。

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

「よくやっている」	17.38% (+1.16pt)
「どちらかといえばやっている」	31.19% (+5.85pt)
「どちらともいえない」	43.46% (-4.24pt)
「どちらかといえばやっていない」	6.06% (-1.93pt)
「まったくやっていない」	1.90% (+0.21pt)
「無効回答」	0.00% (-1.05pt)

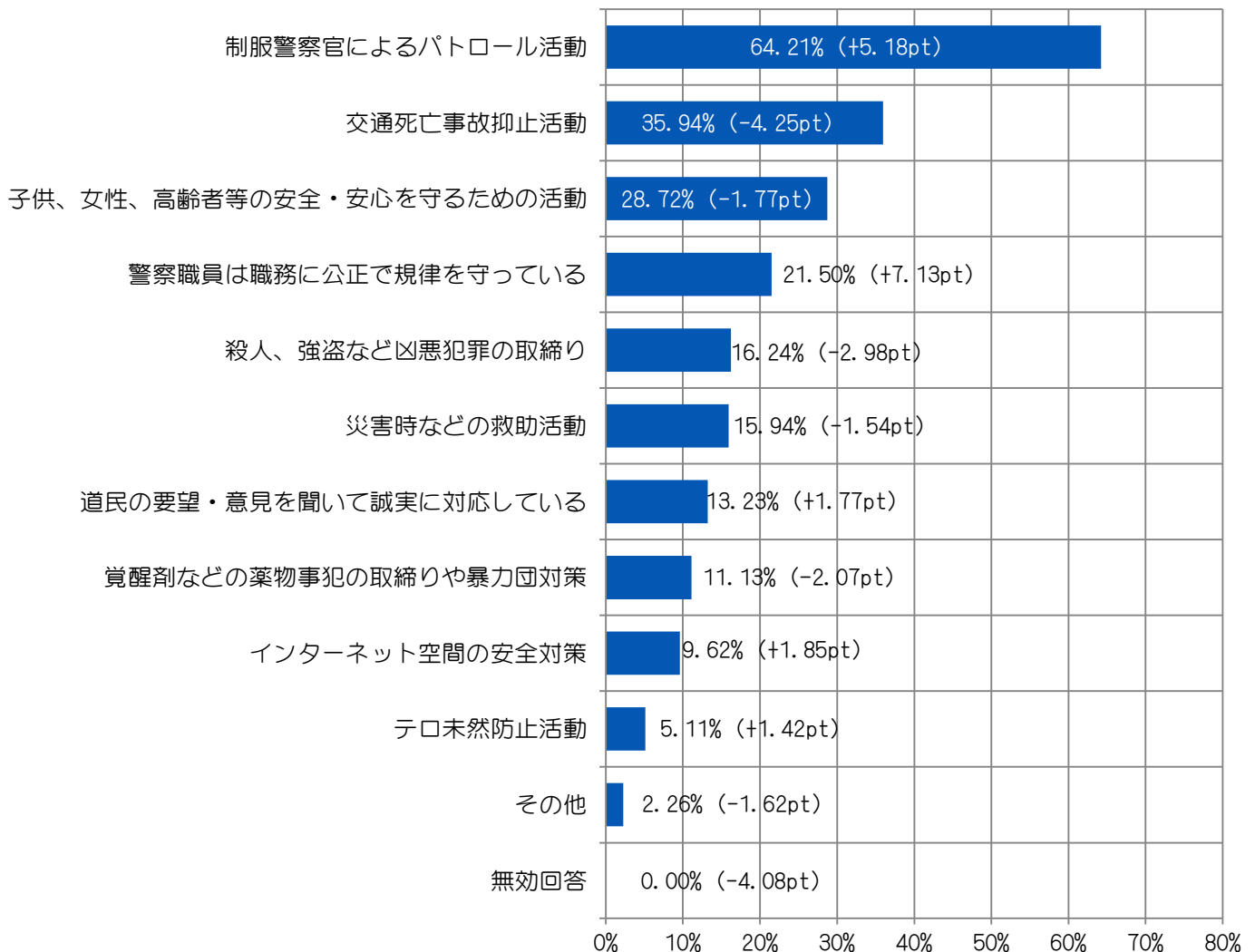


「どちらともいえない」が最も多く約43%を占め、次いで「どちらかといえばやっている」「よくやっている」となっています。
「まったくやっていない」は最も少なく約2%でした。
「よくやっている」「どちらかといえばやっている」を合わせた「やっている層」は約48%となっています。

※「やっている層」 48.57% (+7.01pt)
「やっていない層」 7.96% (-1.72pt)

問4 問3で「よくやっている」「どちらかといえばやっている」と答えた方（48.57%）の理由（複数回答）

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

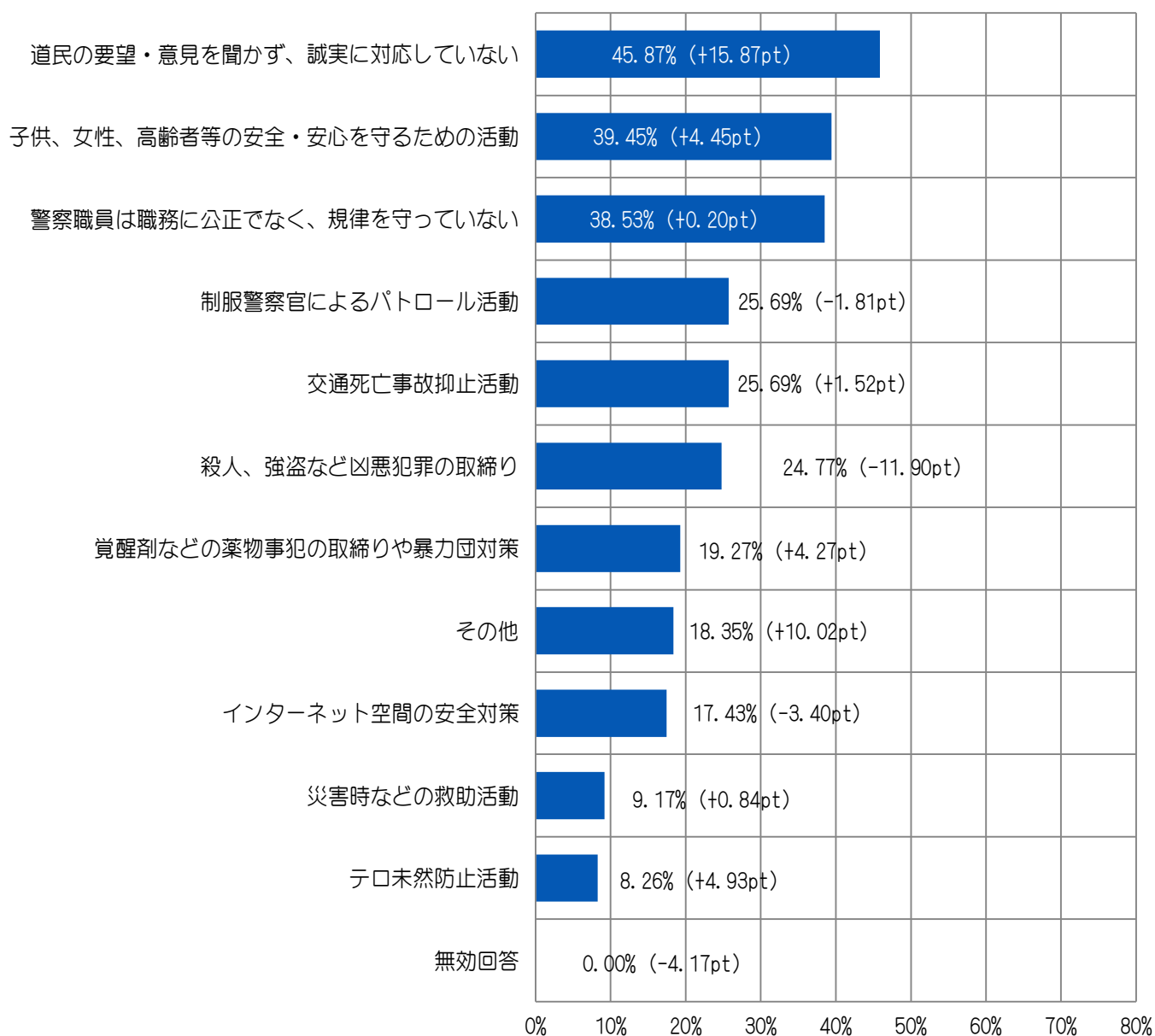


総数（n=665人、M.T. 223.90%）

「制服警察官によるパトロール活動」が最も多く約64%を占め、次いで「交通死亡事故抑止活動」「子供、女性、高齢者等の安全・安心を守るための活動」となっています。

問5 問3で「まったくやっていない」「どちらかといえばやっていない」と答えた方（7.96%）の理由（複数回答）

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

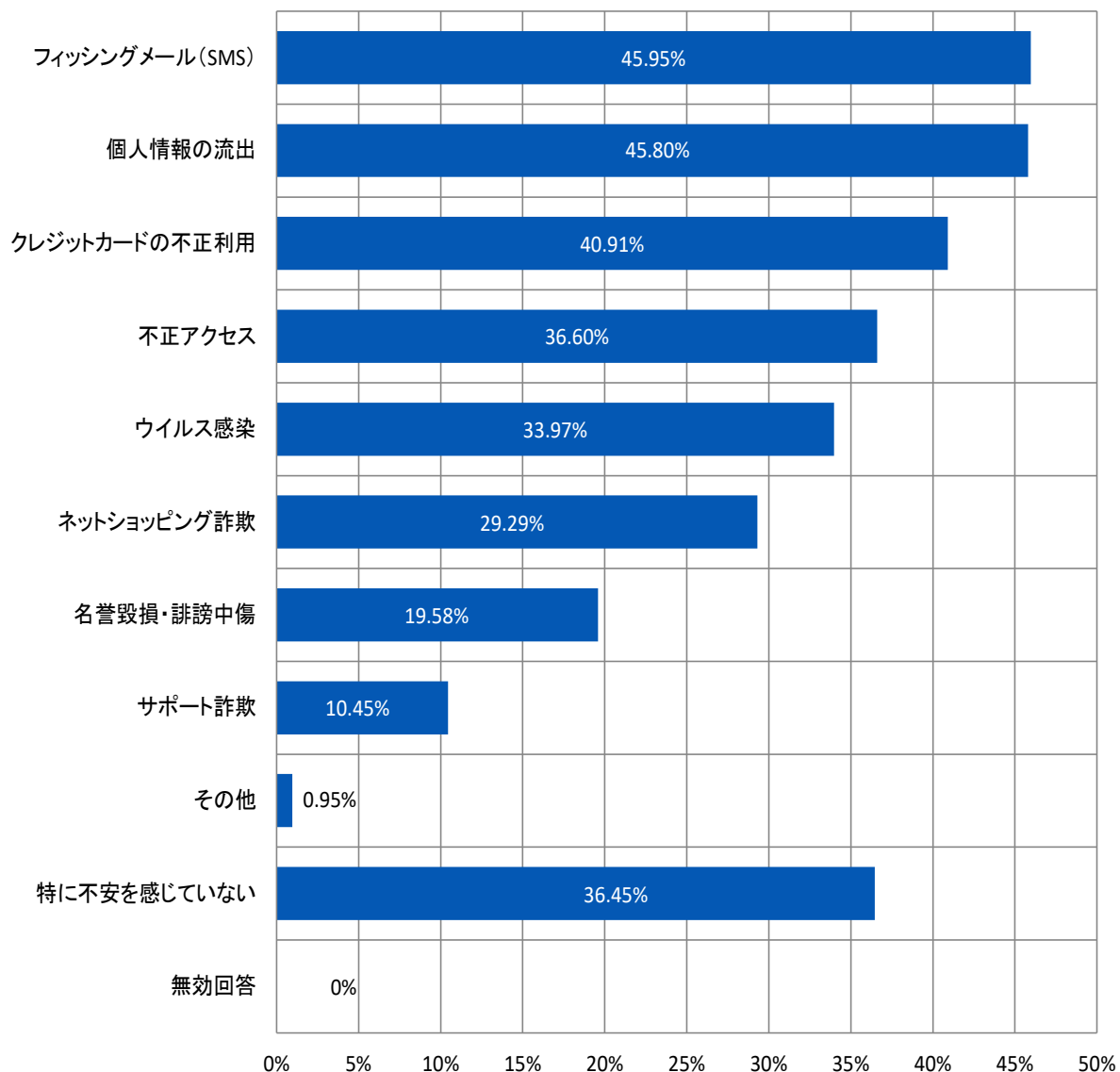


総数（n=109人、M.T.=272.48%）

「道民の要望・意見を聞かず、誠実に対応していない」が最も多く約45%を占め、次いで「子供、女性、高齢者等の安全・安心を守るための活動」「警察職員は職務に公正でなく、規律を守っていない」となっています。

3 サイバー空間における安全・安心

問6 インターネットの利用について、不安を感じる犯罪や被害はありますか。
あると答えた方は、どのような不安を感じる犯罪や被害がありましたか。(複数回答)

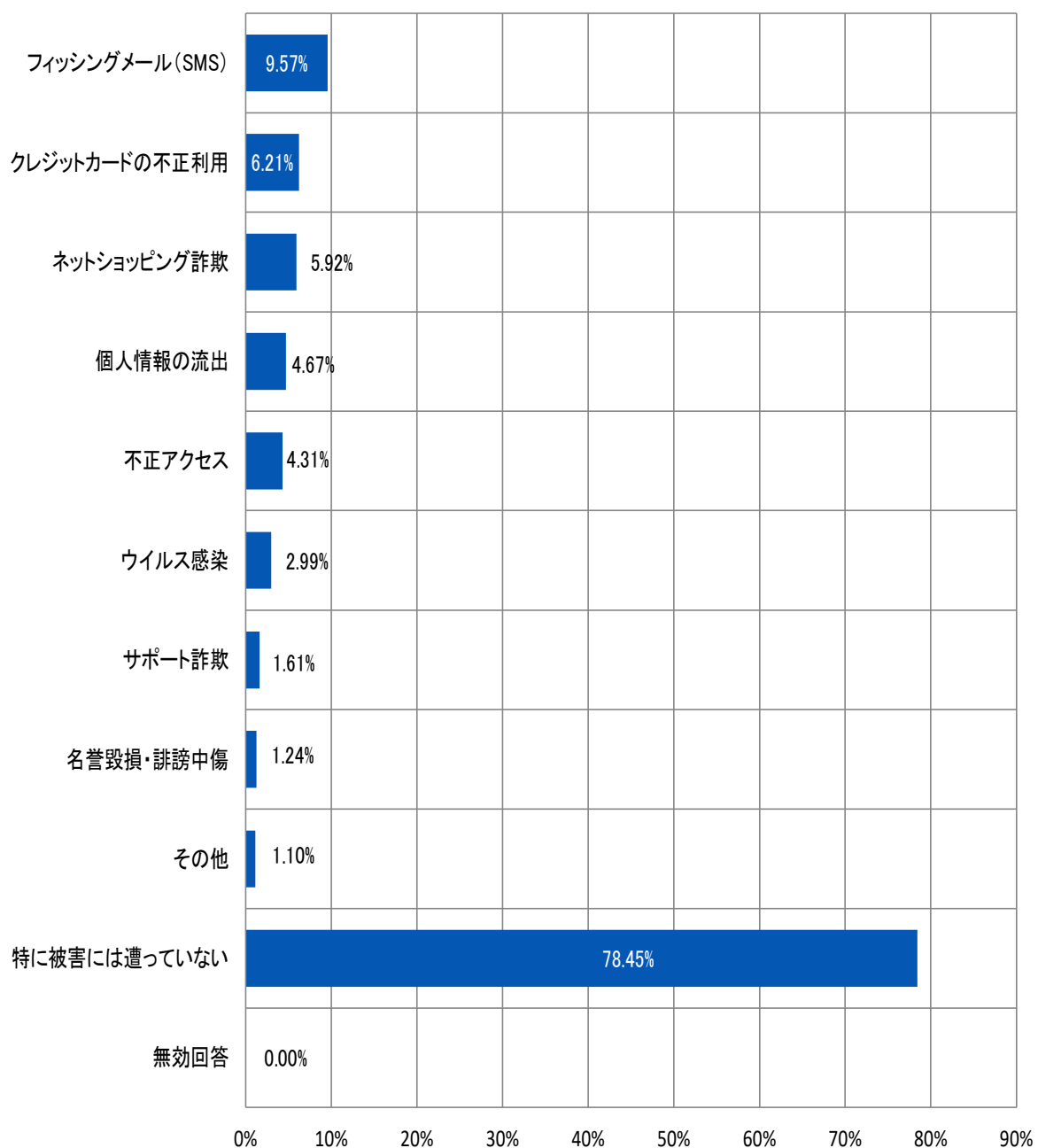


総数 (N=1369人、M. T. =299.95%)

「フィッシングメール(SMS)」が最も多く約45%を占め、次いで「個人情報の流出」「クレジットカードの不正利用」となっています。

問7 インターネットの利用について、実際に被害に遭った、または被害に遭いそうになった経験
 がありますか。

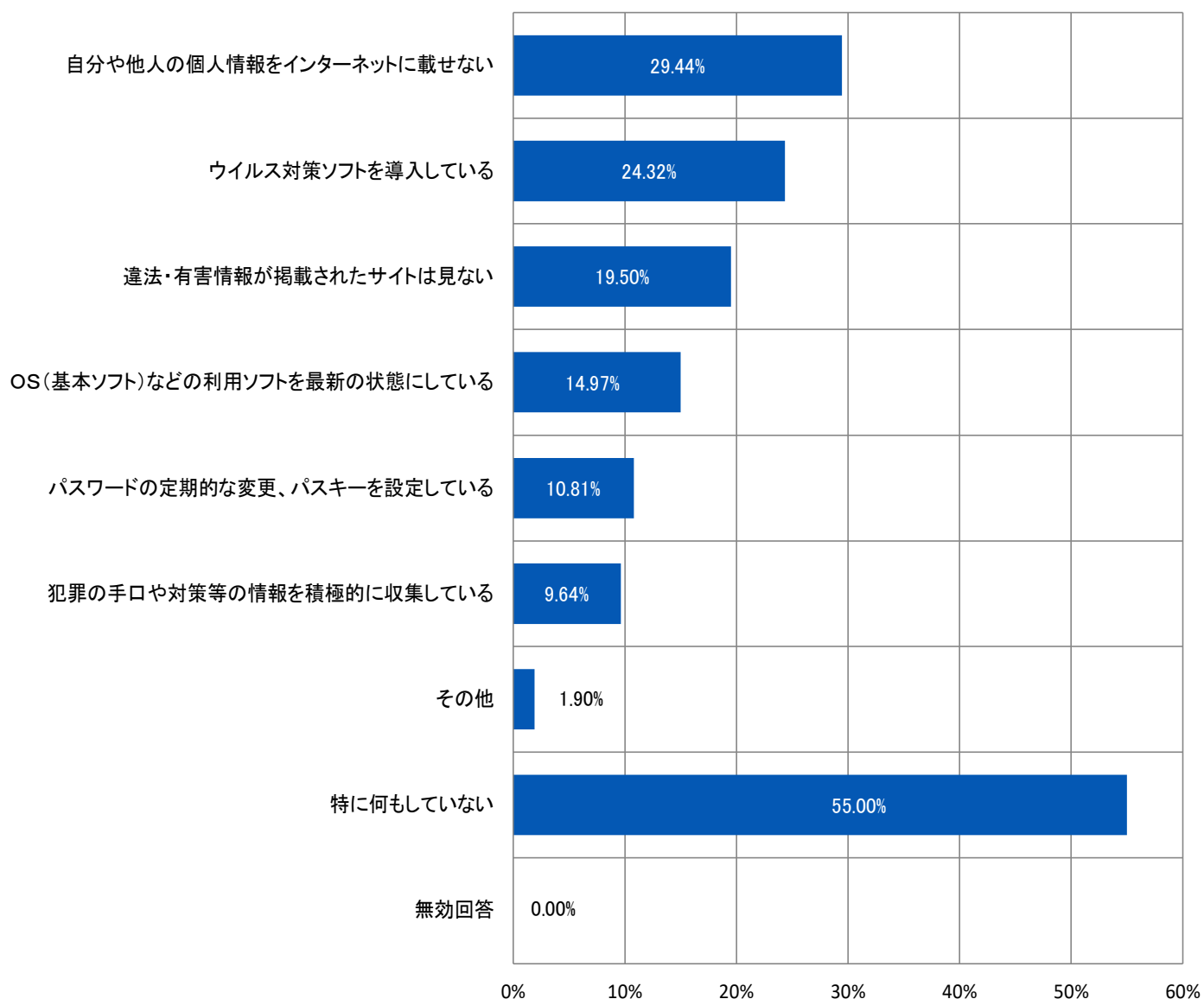
あると答えた方は、どのような被害に遭った、または遭いそうになりましたか。(複数回答)



総数 (N=1369人、M. T. =116.07%)

「フィッシングメール(SMS)」が最も多く約9%を占め、次いで「クレジットカードの不正利用」「ネットショッピング詐欺」となっています。

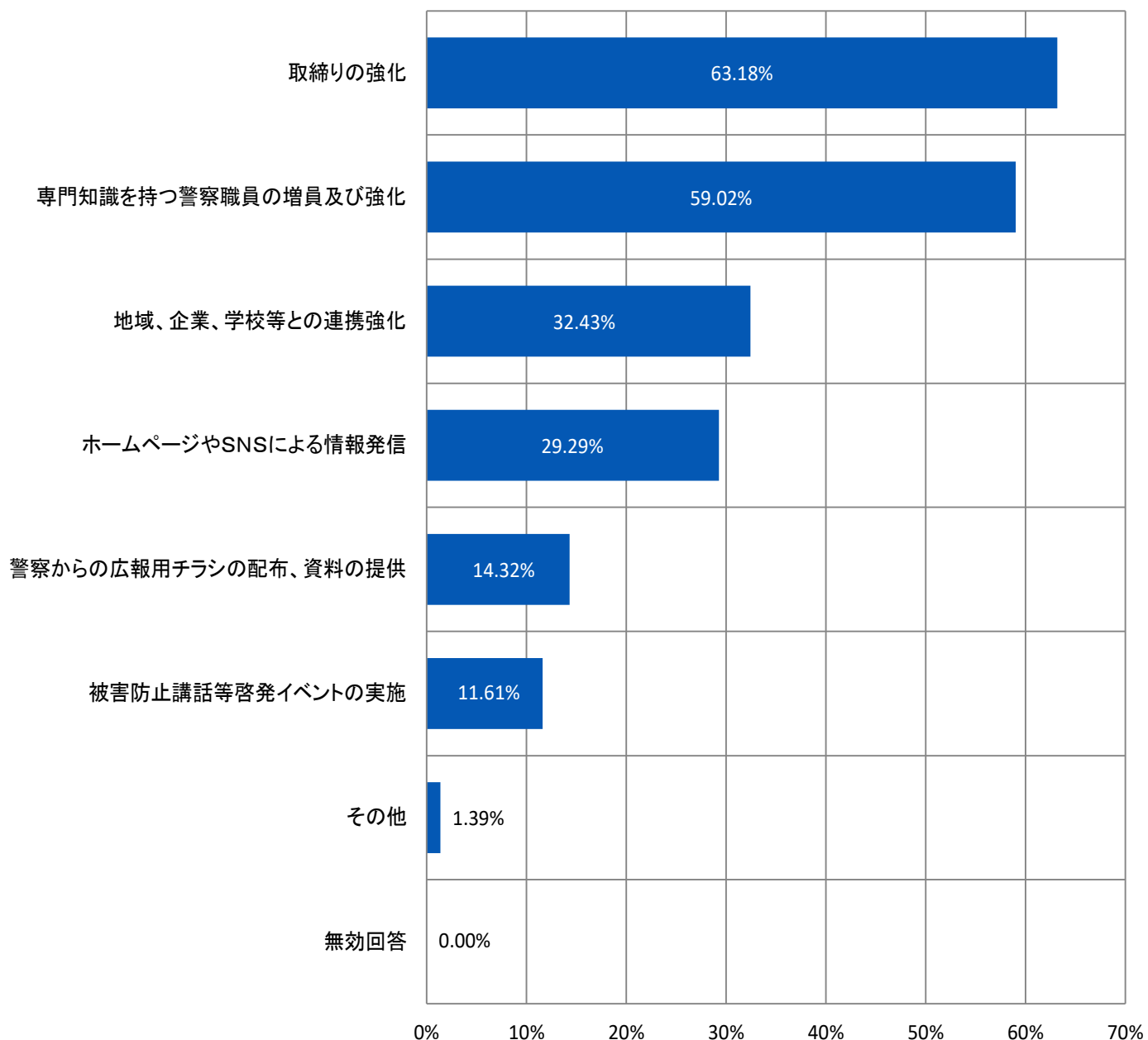
問8 インターネットの空間の犯罪被害に遭わないための対策をしていますか。
対策をしていると答えた方は、どのような対策をしていますか。(複数回答)



総数 (N=1369人、M. T. =165.59%)

「自分や他人の個人情報をインターネットには載せない」が最も多く約29%を占め、次いで「ウイルス対策ソフトを導入している」「違法・有害情報が掲載されたサイトは見ない」となっています。

問9 インターネット空間の安全を守るため、警察にどのような活動を期待しますか。(複数回答)



総数 (N=1369人、M. T. =211.25%)

「取締りの強化」が最も多く約63%を占め、次いで「専門知識を持つ警察職員の増員及び強化」「地域、企業、学校等との連携強化」となっています。